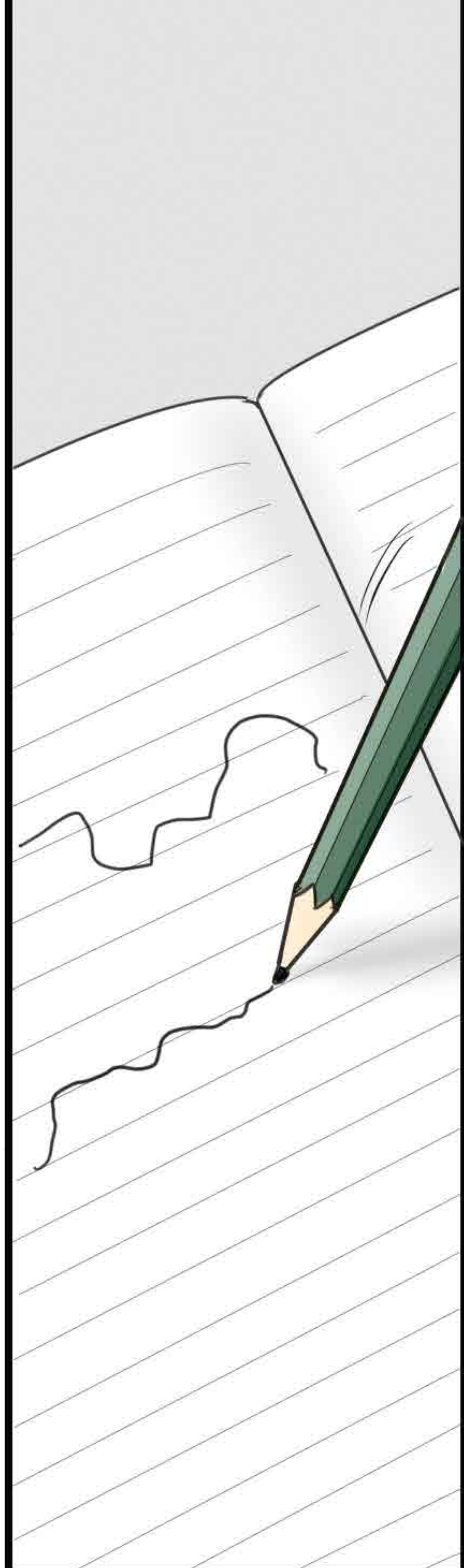




やっぱり
難しい…



それでも
練習を続けた
真千子ちゃん…



森田真千子は
生後10ヶ月で高熱に
よる脳性マヒのため、
両手が全く使えず、
体幹マヒ、下肢マヒが
あります

それは
養護学校
小学部での事
でした



あ、
はい…



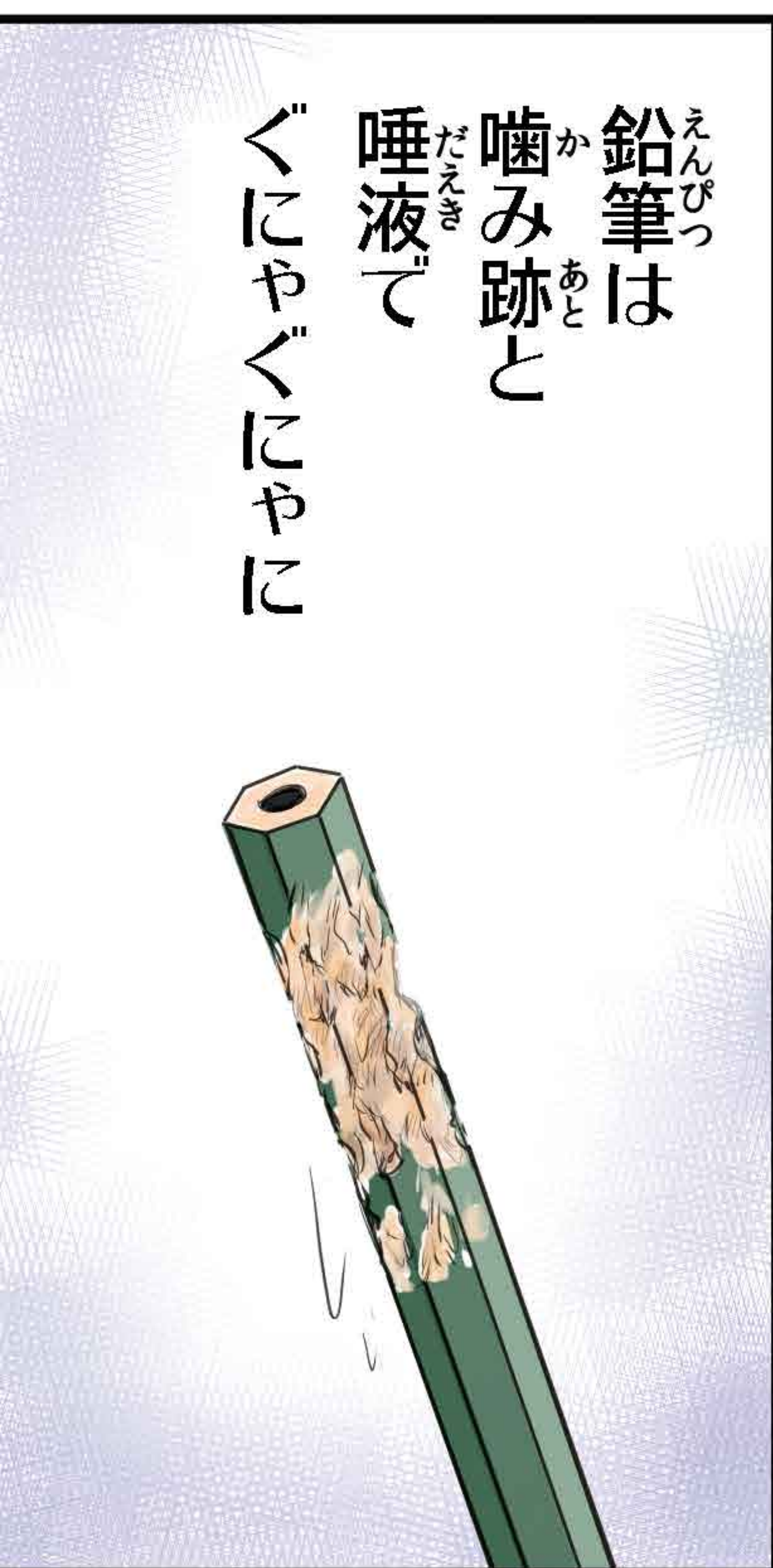
真千子
ちゃん

鉛筆を口に
くわえて字を
書いてみようか！

えっ！

ありのままに生きていく

～森田 真千子～



鉛筆は
噛み跡と
唾液で
ぐにやぐにやに

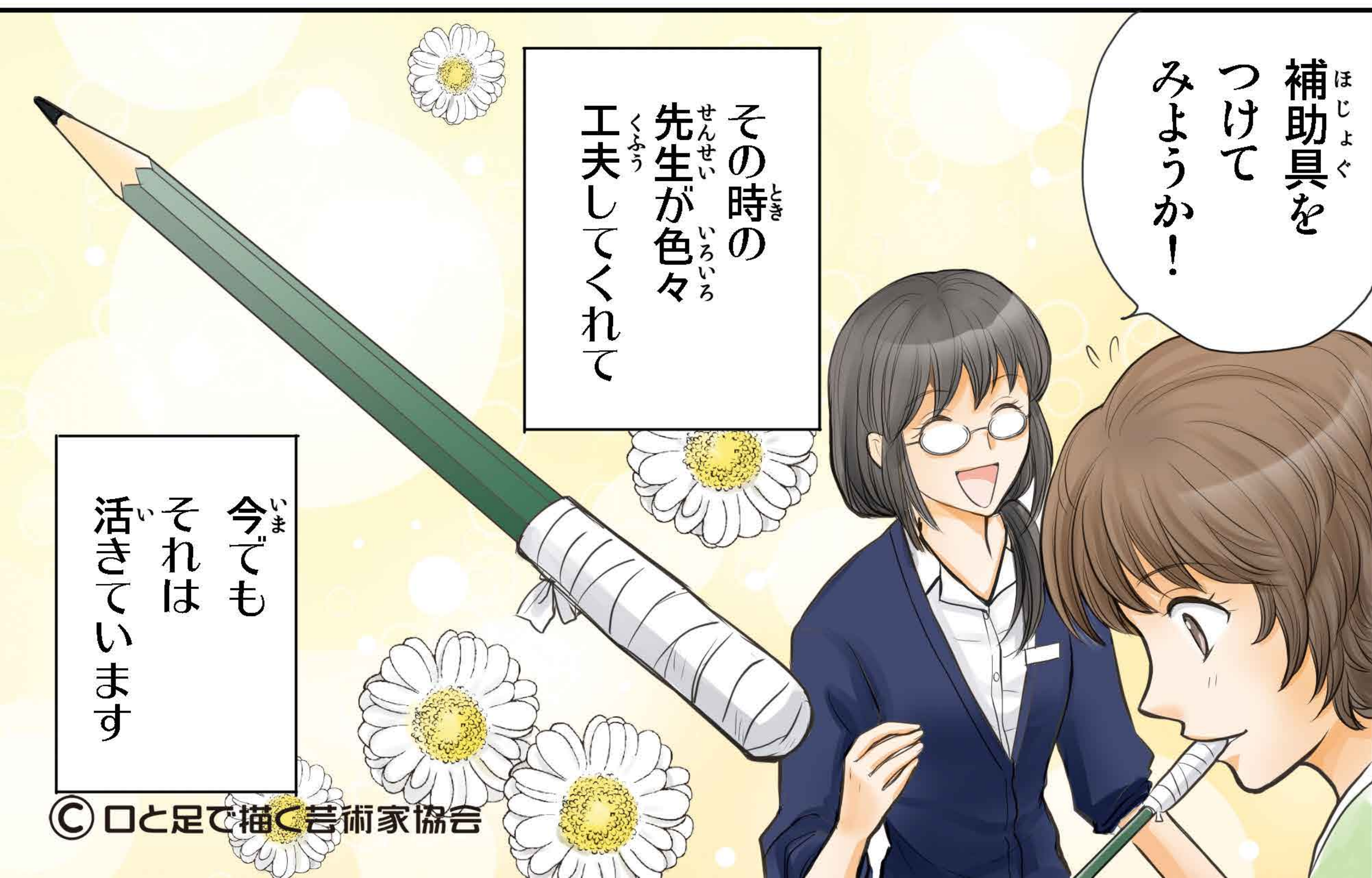
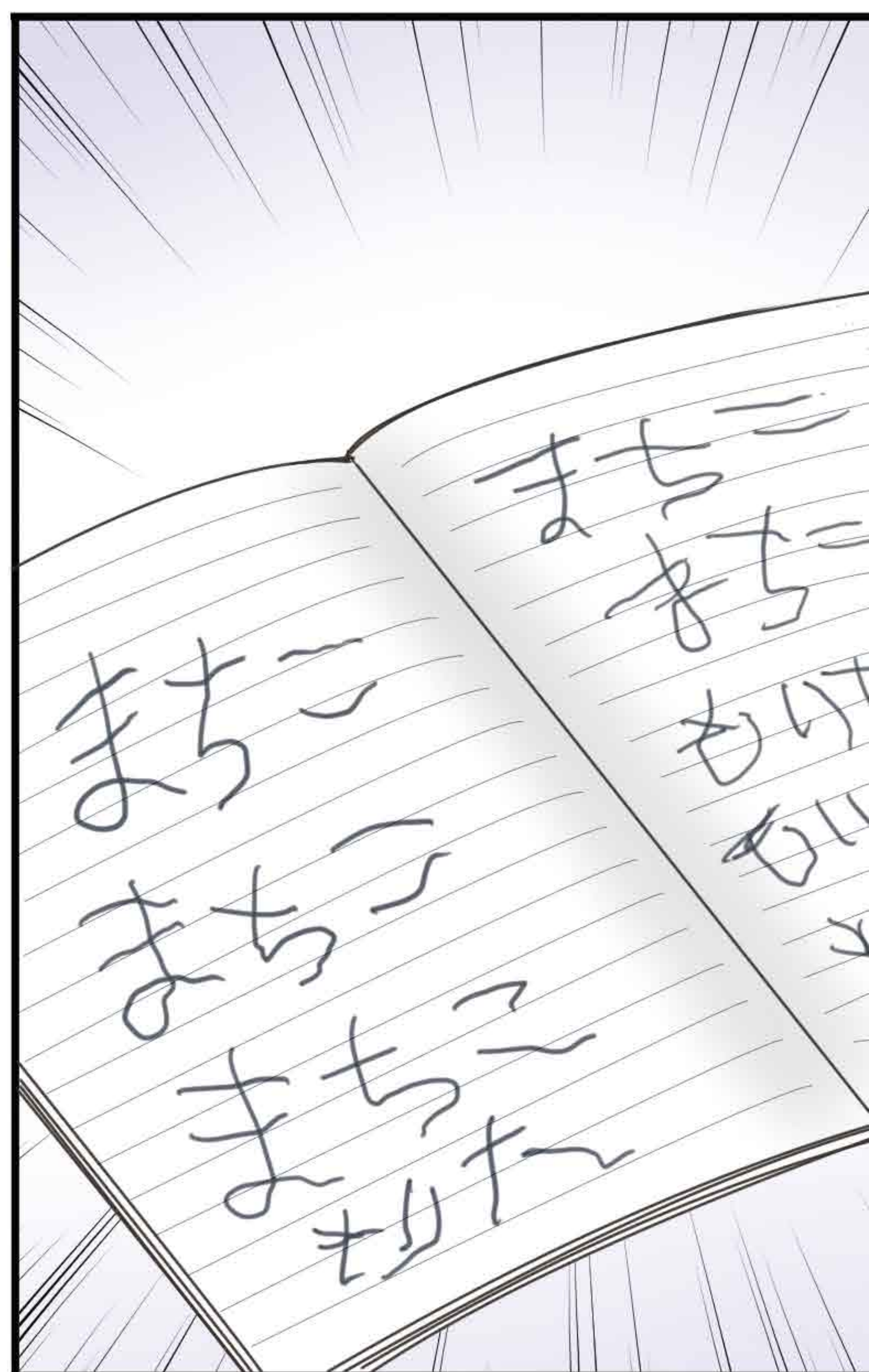


字が書ける
喜びがありました



うん！

すごく
上手に
なってきたね！



補助具を
つけて
みようか！

その時の
先生が色々
工夫してくれて

今でも
それは
生きています



布を
巻きつけて
みよう！

4年生から絵を
描き始め
中学部では
美術部に入り、
絵の基礎を習い
始めました

そんな
ある日

ここですね

美術室

こんにちは！

僕は口と足で
描く芸術家協会の
南正文

口で絵を描いて
いる学生さんは
どなた？

私ですが…

森田が協会の
存在を知り
きつかけと
なりました

また、
協会所属の
足で描く画家
木村浩子が

実際に
養護学校で
講演と実演を
行いました

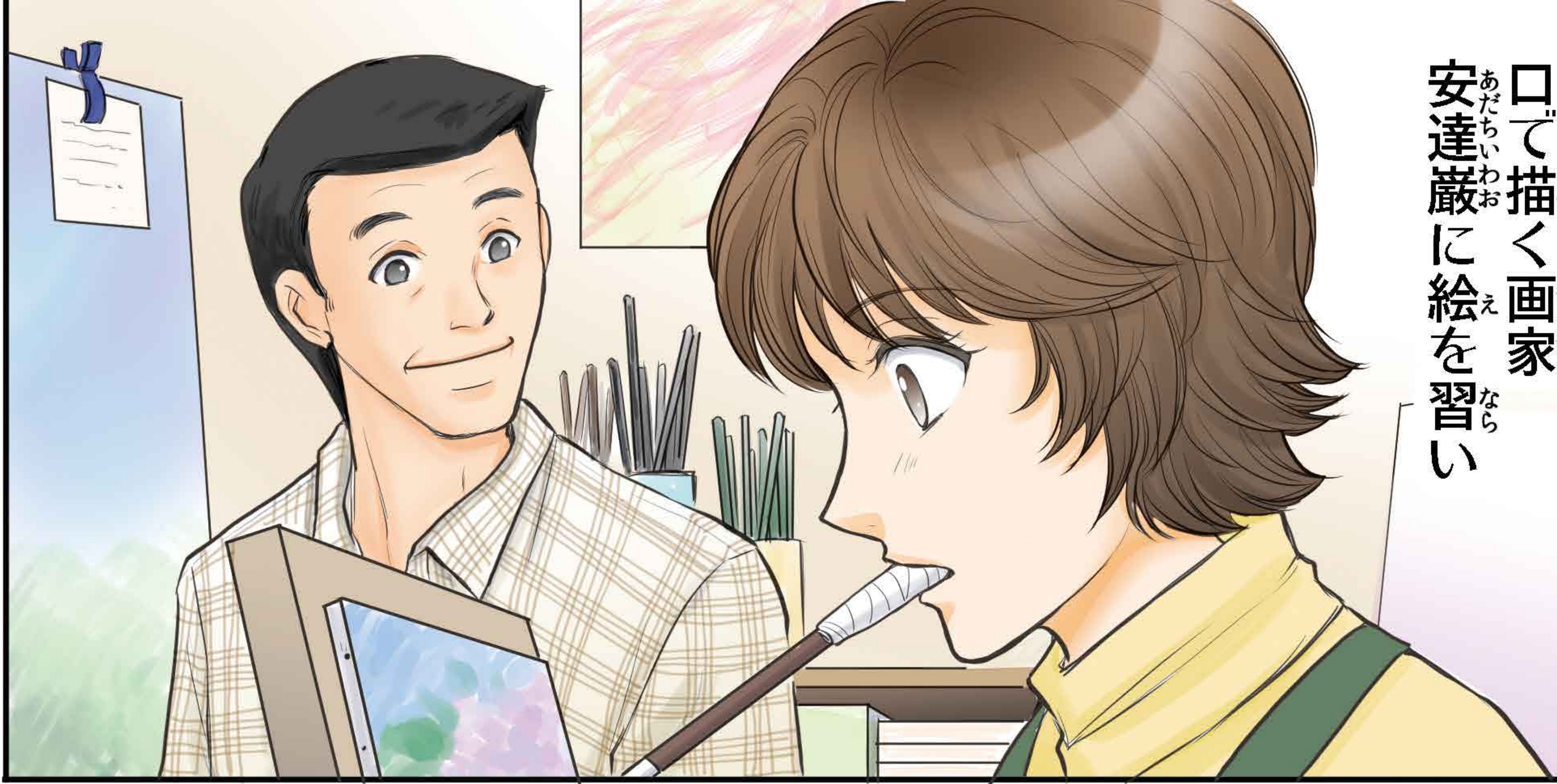
すごい！

私と同じ脳性マヒ
なのに足で絵を
描いて、社会に貢献
しているなんて…！

南と木村との
出会いにより
森田は協会に
入るとい
目標を持ち
ました

高等部でも
美術部に入り
油絵も始めます

卒業後
協会所属の
口で描く画家
安達巖に絵を習い



安達や
南などと
グループ展に
参加する
ようになり
ました



当時は
重度障がい者には
就職先も大学も
受け入れが
なかった時代

強い意思と
エネルギー、
そして協会の
奨学金を得て



才能を磨いて
いきました



否応なしに
在宅障がい者と
なってしまう立場で
ありながら自立を
目指したのです

積極的に外出し
多くの経験、
出会いで輪が
広がります



自分の自信にも
繋がることを
実感します

現在

学校や絵画展
などで、自作短歌に
絵を添えた色紙制作の
実演をしています

次は空に
色を入れて
いくね

そう思わずに
くれる皆様に
本当に感謝！

私も
人の為に
なっている



ご覧いただく
方々に少しでも
笑顔で過ごして
もらいたい！

そんな
思いを込めて
短歌と絵の詩画集
「縁」を発刊しました



「ありのままに生きていく」

障がいの有無ではなく
誰もが社会の一員として

「自信」を持ち

等身大の自分で
前を向き

周囲に
アンテナを
張り、吸収
しながら

相手に笑顔を
向けられる生き方を
したいと願っています

